

令和06年度日進市事務事業評価シート

大事業名	非常備消防事業			コード	02090100-0101		
中事業名	消防団事業			計画区分	①②		
担当部等	生活安全部		担当課等	防災交通課			
総合計画	コード	名 称	予算科目	コード	名 称		
	会計	02		1	一般会計		
	款	09		09	消防費		
	項	01		01	消防費		
	目			02	非常備消防費		
	大			01	非常備消防事業		
	中			01	消防団事業		
根拠法令・条例等	消防団を中心とした地域防災力の充実強化に関する法律						
基本計画等	消防組織法、消防団条例、消防団規則						

1 事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	消防団員の管理、訓練、研修、啓発活動を実施する。
対象	日進市消防団
意図（目的）	非常備消防業務を適切に行う。
手段	非常備消防団業務の実施

2 実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）		R4予算額	R4決算額	R5予算額	R5決算額	R6予算額	R6決算額	R7予算額
		39,605	37,156	41,774	41,752	47,667	44,439	38,764
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	192	0	192	1,000	995	178
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	3	4,894	3	6,405	3	4,496	3
一般財源		39,602	32,070	41,771	35,155	46,664	38,948	38,583
人件費	正規職員	業務量	0.00 人	1.42 人		1.46 人	0.00 人	
		人件費	0.00	9,974.00		10,255.00	0.00	
	会計年度 任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人		0.00 人	0.00 人	
		人件費	0.00	0.00		0.00	0.00	
総事業費（千円）		37,156		51,726		54,694		0

令和06年度日進市事務事業評価シート

○令和 6年度に記載した具体的な改善内容

令和 6年度に実施する具体的な改善内容	新たな消防団組織として機能別消防団員を設立し、市内大学等を中心に募集協力、応援を求めていく。
今後(1~3年以内)実施可能な改善内容	新たに設立した女性消防団員及び機能別消防団員に地域住民への消防啓発活動を展開していく。そのために必要な資機材等を準備するなど事務局として後方支援をしていく。
令和 6年度に取り組んだこと	大学生を対象とした機能別消防団員を募集した。また、本市で開催した愛知県消防操法大会と同時開催で「消防防災フェスタ」を開催し、消防防災の啓発活動を通じて消防団の活動を周知した。
成果	市内大学などで募集活動を行い、機能別消防団員として4名が加入した。「消防防災フェスタ」では、機能別消防団員・女性消防団員とともに消防防災の啓発活動をし、分団員以外の消防団員の活動があることを来場者に周知できた。
課題	各消防団組織の団員確保及び退団団員数の減少が課題。活動の負担軽減や勤務先や家庭との両立を鑑み、団員が長く活動しやすい環境づくりが必要である。

3 事業の分析「CHECK(評価)」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	機能別・女性消防団員や分団員の加入があったものの、団員加入数よりも退団団員数が上回っており、消防団員数が減少した。今後も機能別・女性消防団員問わず、新たな団員確保を継続していく。			

4 今後の方針性「ACTION(改善)」

令和 7年度に実施する具体的な改善内容	県消防操法大会で同時開催した「消防防災フェスタ」が好評であったため、市操法大会においても「消防防災フェスタ」を開催し、消防防災の啓発活動を通じて、消防団員の加入促進を図る。				
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
今後(1~3年以内)実施可能な改善内容	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後(1~3年以内)実施可能な改善内容	分団員以外の女性消防団員や機能別消防団員の消防団組織があることを、地域住民への消防啓発活動を通じて周知していく。また、団員が長く活動しやすい環境づくりを事務局として支援をしていく。				

【アウトプット指標】

指標名	年間総活動回数(述べ参加回数)				単位	回
	R4年度		R5年度			
指標データ	目標	実績	目標	実績	目標	実績
	8,000.00	5,864.00	8,000.00	5,519.00	6,000.00	5,564.00
						6,000.00

【アウトカム指標】

指標名	消防団員数				単位	人
指標データ	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		
	目標	実績	目標	実績	目標	目標
式	消防団員数					
指標の狙い	災害時の人的活動体制を効果的に確立するためには、各地域の消防団員の協力が不可欠であるため、団員の定員確保を目指す。					